

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	国際標準規格等認証取得支援事業			会計	款	項	目	大	小
				01	07	01	02	02	56
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課				
施策	5-2	工業の強化と新たな産業の創造		主管課長	渋谷 俊之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内事業所	意図	市内事業所の国際競争力の向上及び経営基盤の安定を図る。
事業内容	市内の中小企業の企業間の競争力の向上及び経営基盤の安定を図ることにより、本市産業の振興及び活性化に寄与するため、国際標準規格の認証取得に要する経費の一部を補助する。			
事業開始から現在までの状況変化	本事業は平成18年度から国際標準規格の認証取得に要する補助金を予算化してきた。補助金の交付状況は、平成19年度は2件、平成20年度は1件、平成24年は1件と国際標準規格は経費がかかることから認証を取得する企業が少ないことから、平成25年度より、エコアクション21承認登録に関する補助を追加したが、平成26年度は0件、平成27年度は2件、平成28年度は1件、平成29年度は1件、平成30年度0件という状況である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	市内事業者の認証取得・登録件数	89	89	87	件	↑↑↑
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 国際標準規格のISOの認証を取得するには莫大な経費がかかることから、平成25年度からはエコアクション21の認証登録に対する補助も本事業に加えた。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		873,800	855,440	791,040				
事業費(b)(円)		50,000	50,000					
うち一般財源		50,000	50,000					
職員給与費(c)(円)		823,800	805,440	791,040				
人役・職員(人)		0.12	0.12	0.12				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	流山商工会議所や流山工業団地との連携により、当該事業について情報提供を行う。	③取組における課題(Check)	国際表基準基準の認証取得には多額の経費がかかることから、申請企業が少ない状況にある。
②H30に実施した取組(Do)	広報や市ホームページでの補助金募集の周知は勿論、会議所や工業団地での役員会等でも募集の周知を図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	更に、制度及び助成情報の周知を図る。